

# こぶしの花

Kobushi no Hana

青森中央学院大学  
青森中央短期大学  
青森中央経理専門学校  
青森中央文化専門学校  
認定こども園  
青森中央短期大学附属第一幼稚園  
青森中央短期大学附属第二幼稚園  
認定こども園  
青森中央短期大学附属第三幼稚園  
中央文化保育園  
浦町保育園



ラ・ペーの像を臨む  
撮影：青森中央短期大学看護学科1年 山本 菜名

特集：平成24年度就職状況

vol.87

目次

特集：  
平成24年度就職状況 2

青森中央学院大学 6

- ・学位授与式
- ・入学式
- ・オリエンテーション
- ・学生カフェ
- ・ニコニコ通り商店街の振興計画づくり
- ・大学院「企業危機管理士」資格取得
- ・国際交流センターより

青森中央短期大学 8

- ・新たな旅立ちの時を迎えて
- ・入学式挙行
- ・オリエンテーション
- ・高い合格率を保つために～看護師国家試験合格率 96.6%！
- ・学生考案の米粉スイーツがついに商品化！
- ・幼児体育指導者検定認定校に
- ・福祉を知ってもらう事、福祉人材を育成するという事

附属第一・第二・第三幼稚園  
浦町保育園 中央文化保育園 10

- ・行事アルバム
- ・先生達活躍しています
- ・読み聞かせたい一冊の絵本

青森中央文化専門学校  
青森中央経理専門学校 12

- ・卒業授与式・祝賀会
- ・入学式・オリエンテーション
- ・沼山るり子先生 永年勤続教職員表彰受賞
- ・自分の未来像
- ・進級者の意気込み
- ・経理情報発信
- ・ファッション通信
- ・おススメ図書
- ・卒業生ピックアップ

新教員紹介 14

学園共通 16

インフォメーション 18

特集 平成24年度就職状況

私たちを取り巻く環境と  
キャリア活動の考え方



キャリア支援センター長 塩谷 未知

厳しい雇用情勢が当たり前のよう続きます。かつて存在した学生が有利な売り手市場という言葉は、もはや死語に近いのではないかと思います。そのような中で本学園の平成24年度卒業生は驚くばかりに底力を発揮し、就職内定率は専門学校96.7%、短大98.4%、そして大学が95.9%と健闘しました。

この成果は学生の挑戦と努力に拠るところですが、卒業生、指導教員、キャリア支援センターの職員や関係者、そして地域の皆さんの温かいご指導・支援の賜物と深く感謝する次第です。

高度成長の余韻が残る時期に社会に出てからのことを振り返ってみると、いろいろなことがありました。1970年代の石油危機、1980年代のプラザ合意による急激な円高、1990年代のバブル経済と崩壊、2000年代に入ってからITバブルと崩壊、リーマンショックによる世界金融危機、そして2011年の東日本大震災と、それまでの経済・社会の枠組みを変えるような出来事が何度も起きています。多分これからも起きるはずで

何が起きるか予測がつかない世の中ですが、時代に振り回されることなく、自分の軸足をしっかり持って前に進む必要があります。

どんなに時代が変わっても人との関わりが無くなることはありませんし、人との関わりの中かで新しいイノベーションが起きるものです。人との関わりは、ひとりひとりの行動とコミュニケーションから生まれます。人材採用に当たって、採用する側がコミュニケーション力を大切に最大理由がここに

あります。キャリア支援センターとしては、このような就職基礎力を上げるためのプログラムの提供と就職活動に直結する支援を行って

- 就職基礎力アップのプログラム提供
- 進路意志の確認と早期活動の動機づけ
- エントリーシート記入、面接対応など実践的な支援
- 企業訪問や企業説明会を重視し、企業や外部支援機関との連携強化
- キャリア支援センターによるきめ細かい学生指導や支援の強化
- 公務員講座、教員資格取得教育などの支援
- 日本企業への留学生就職支援

就職活動は学生自身が行うのが基本ですが、指導教員の先生、運動部監督・顧問、キャリア支援センターのきめ細かい支援や指導が、長く続く就職活動には不可欠です。ご協力を切にお願いします。

また、学生の皆さん同士の前向きな情報交換を心より期待します。

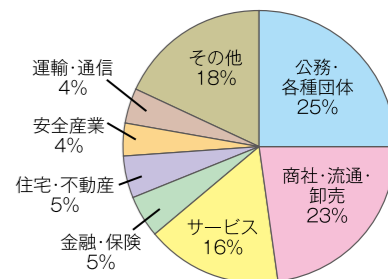
青森中央学院大学の状況

平成25年3月卒業の大学卒就職内定率は改善されてはいるものの、依然として厳しい状況に変わりはありません。厚生労働省が文部科学省と共同で調査し、3月15日付で発表した全国の内定状況は81.7%で、前年同期に比べて1.2ポイント増となりました。追い風とはいえない中、平成24年度本学卒業生は健闘し就職率95.9%という昨年を超える実績を示しています。個別にみると、地域の生活や事業を支える県内の金融機関や企業、団体や公務員へと幅広く就職しています。また、これまで就職実績のなかった企業に果敢に挑戦し、内定を得た学生が複数出ていることは本学の活躍の余地を予感させます。

どんなに優秀な人でも一人では仕事はできません。仕事の成果を上げるには、仲間と一緒に仕事をするための行動とコミュニケーションの二つの力が不可欠です。そのため企業はこの二つの力を就職試験で重視します。これら二つの力は、本学のキャリア支援プログラムに真剣に自ら取り組むことで身につけることができます。在学生の皆さんも、キャリアプランニングを履修し、就職活動に必要な二つの力を身につけて、新しい世界に挑戦してください。

4年生の皆さん、就職活動を通じて多くの人に出会い、自分自身を少しだけ変えてください。同じ年代の人たちが悩みながら行っている就職活動に参加することで、同年代の持つべき同世代感覚を研ぎ澄ますことができます。これは今しか磨くことができませんし、一生役立つものです。

(キャリア支援委員会委員長 塩谷 未知)



就職活動体験記



森山 咲子 さん 青森銀行

就活には事前準備がとても重要です。選考会場に足を運んで感じたのは、当り前の事を当り前にできる学生は案外少ないということです。あなたもきっとできていません。同じことはESを提出する時や先方に電話をかける時にも言えます。私は先輩方の就活をよく観察し、お話しも沢山伺いました。頼れる人が見つからなければ是非、キャリア支援センターを訪ねてください。学生各々に対応したアドバイスを上手く活用して欲しいと思います。



舘 篤 さん 青森県赤十字血液センター

私は就職活動を通して、多くの方々に支えてもらいながら、人と人との繋がり大切さを心から実感しました。特にキャリア支援センターの方々には親身になって話を聞いてもらい、漠然としていた就職について大きな力になってもらいました。実際にキャリア支援センターの方に教えてもらうまで、この求人があることすら知りませんでした。お世話になった全ての方々への感謝の気持ちを忘れずにこれからを歩んでいきたいと思っています。



村中 愛 さん 東海澱粉

私の大学生活は本当に成長出来た濃い時間となりました。そこから学んだ人との出会いの大切さ、自分は自分次第でいくらでも変えられるということを在学する皆さんに伝えたいです。少し前までの自分は本当にだらしく、今の私なら喝を入れているような学生でした。しかし、ゼミの丸山先生のある一言から、出来ない決め付けず、出来るかもしれないと思ってやってみること、素直に受け入れること、やるべきことはやるということ意識して生活するようになりました。他にもたくさんの先生方、キャリア支援センターの皆さん、事務局の方達に多くのきっかけやチャンスを頂きながら、今現在の私へと成長できました。たくさんの経験をもとに、就職活動でも自分の考えを伝えられたので、第一志望の会社に就職出来たのではないかと思います。

私が正解ではなく、人それぞれやり方と答えがあると思います。それを見つける四年間という時間だと思うので、自分自身と向き合って成長するための日々にしてください。自分次第で必ず変われます。

最後に、私に出会ってくれた皆さんに感謝です。ありがとうございました。

## 青森中央短期大学の状況

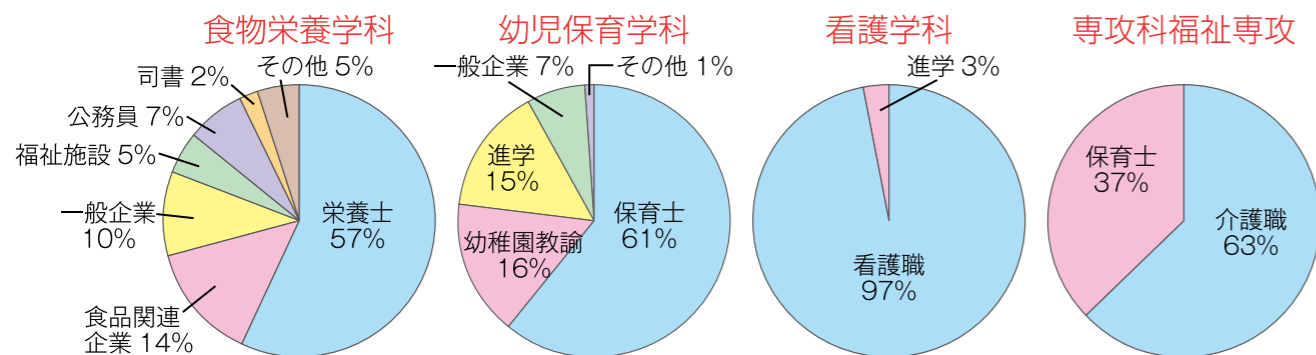
平成24年度の就職・進学はスタートダッシュの良さが印象に残りました。前年度より1～1.5ヶ月早いペースで内定が決まり、単に人数だけでなく、専門職の比率も高く維持できました。年度末の就職率は98%であり、立派な成果と言ってよいでしょう。

**食物栄養学科**は、栄養士内定が昨年度と同水準の57%、専門職全体（栄養士と食品関連企業）では昨年度より1ポイント増の71%でした。首都圏への就職は、栄養士内定者中21%、専門職全体では24%であり、今後も早期の就職対策に向けて入学時からの学生への意識づけが重要となると同時に、地元青森、北東北内への就職支援との両立が課題となるでしょう。

**幼児保育学科**は、専門職全体（保育士と幼稚園教諭）が77%、専攻科福祉専攻科への進学が15%であると同時に、一般企業への就職が7%、さらに首都圏への就職が18%と、新しい局面が生じつつあります。保育職でも前期から就職活動が始まるケースが微増し、新たな対策が必要です。

**看護学科**も内定100%を維持し、また国家試験も96.6%と過去最高の合格率を達成しました。とりわけ青森県内への就職が昨年度より1ポイント増の78%、その他東北5県が8%であり、単に全体の安定した就職率というだけでなく、地元への貢献が十分に果たせたと思います。

**専攻科福祉専攻**は例年通り100%内定を維持しました。高齢化社会への対応だけでなく、保育園、幼稚園教諭として就職した卒業生が、育児後の就職先を確保するためにも、専攻科へ進学し、介護福祉士を取得する意義は高まっていると感じます。  
(キャリア支援委員会委員長 宮田 篤)



## 就職活動体験記



**柏倉 英子 さん**  
社会福祉法人はくしん会

私の内定先の求人は新卒の募集ではなく一般募集でした。そのため新卒で就職試験を行ってもらえるか、もし採用されたとしてやっていけるかなど大きな不安がありました。しかし、思い切って施設の方に連絡をとったところ、新卒でも受験してもいいと言われました。その後面接を行い、内定をもらうことができました。就職ができたのはあきらめずに行動したからだと思っています。2年生は忙しいですが先生方、キャリア支援センターは様々な支援を行ってくれます。不安があっても行動することをやめずに就職活動に励んでほしいと思います。



**津島 翔太 さん**  
社会福祉法人東京都社会福祉事業団東京都八王子福祉園

近年類を見ない不況の中で、私は幸運にも東京都の知的障がい者支援施設に内定が決まりました。私の希望する仕事は、東京都内でも数少なく、ここが不合格であれば後がないようなギリギリの状況でした。就職活動を行うにあたり、他の受験生との差別化を図るため、私は積極的にボランティア活動をしました。国内外の様々な境遇にある子ども達への理解を深め、他の人よりも子どもや障がい者に対するコミュニケーション能力を身につけられました。これからは新人として勤めるわけですが、仕事を覚えるのはもちろん、利用者が気軽にコミュニケーションをとれるよう利用者一人ひとりに合った支援を行いたいと思います。



**溝江 まみ さん**  
GUドリームタウンALi店

私は4月にオープンするGUドリームタウンALi店に準社員として内定をいただきました。当初、縫製技術関連の職種を志望していましたが、GUではファッションの知識と縫製技術を最大限に活かすことができると考え、販売員をめざす決断をしました。2年次後半の求人に対し活動したため、友人達もほぼ進路が決まり、既に研修を始めている友人もいる状況で、焦る一方でした。そんな時、親身になって話を聞いてくれる先生方や友人達の存在はとても大きかったです。無事に内定の連絡を頂いた際には本当に安心しました。これからは一社会人として常に努力を怠らず、何事にも前向きに丁寧に取り組んでいきたいです。



**井筒 静香 さん**  
社会保険労務士葛西周吾事務所

私の就職活動は、1年生の時に学校主催の企業説明会に参加したことからスタートしました。業種問わず色々な企業の話聞き、1月から興味のある会社の情報収集を始め、エントリーしました。自己分析と志望動機をまとめることと面接対策に苦戦しましたが、キャリア支援センターの方と先生方の支えもあり、徐々に自信に繋がりました。その結果、経理事務コースで学んだことが活かせる社会保険労務士事務所へ就職することができました。在校生の皆さん、就職活動と向き合うことを恐れず一生懸命努力し続ければ、必ずゴールに辿り着けます。不安な気持ちに負けず一歩ずつ進んでください。

## 青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校の状況

平成23年度からの試みであった「学内就活検定」を2年間実施した学年であり、早期から活動した学生は、複数の内定をいただきました。

専門学校全体の就職率は、青森県内の専門学校の就職内定率92.0%（県内就職91.3%）を上回る96.7%（県内就職96.6%）でした。

学校別でみると、**青森中央経理専門学校**では、昨年度苦戦した医療事務コースにおいて、医療事務や調剤等コースに則した専門的な就職先に就職ができました。

また初めての卒業生を輩出した観光コンシェルジュコースでも、旅行会社や新幹線のアテンダント等、「業界」への就職内定を達成できました。

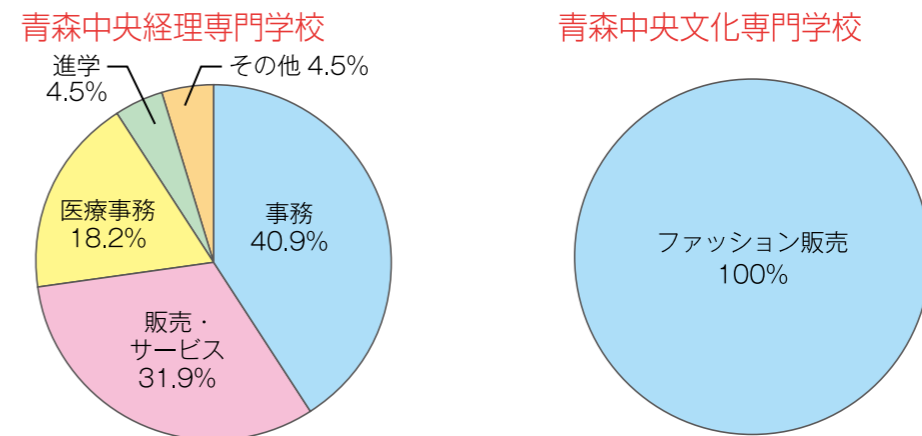
経理事務コースと併せて、全体の就職率は95.2%に達しました。

地域的には、県外を希望した1名以外は全員県内就職となり、学生達全員が希望の勤務地となりました。

**青森中央文化専門学校**では、昨年度に引き続き就職率は100%に達しました。職種は全員販売職でした。インターンシップやイベント等での企業との繋がりも、好結果の一因だと思います。

地域的には、全員希望した県内就職となりました。また、両校ともに「地元就職に強い」専門学校をアピールできる結果となりました。

今年度は就職率だけでなく、専門性の高い職場への就職率向上もよりアップさせることを課題とし、キャリア支援センターや企業との情報共有を密にしていける他、早期の動機づけ、就職意識を向上させることが重要と考えています。  
(キャリア担当 鈴木 伸吾)



## 就職活動体験記

# 青森中央学院大学

## 学位記授与式

3月17日、青森中央学院大学第12期生（116名）及び、同大学院第8期生（9名）の学位記授与式が行われた。花田勝美学長より、ひとりひとり丁寧な学位記が手渡された。

昨年同様、比較的良好な就職状況を背景に、卒業生ひとりひとりの顔からは自信と希望に満ちた様子が伺われた。改めて、在学の期間に大きな進歩と発展を遂げていることを実感させられた。なお、午後には、青森国際ホテルにて、卒業生有志の進行による「卒業祝賀会」が行われた。

（小俣 勝治 学務委員長）



## オリエンテーション

4月5日～6日の1泊2日で、岩木青少年スポーツセンターにおいてオリエンテーションキャンプが行われ、1年生158名（留学生含む、2,3年編入生含まず）が参加した。初めて出会った者同士、1泊2日寝食を共にし、親交を深めた。学務委員の教員を中心に、本学の教育課程や、修学のガイドライン、大学生活全般について説明が行われた。学友会の先輩学生による歓迎会・スポーツ大会や、友達を作るためのグループワークで、お互いが打ち解けて楽しい時間を過ごした。（小俣 勝治 学務委員長）



## 入学式

4月3日、青森中央学院大学第16期生（174名）及び同大学院第10期生（8名）の入学式が挙行された。今年は花田勝美学長からの式辞に加え、法人を代表して石田憲久理事長からも、新入生の励ましと保護者への挨拶が行われた。昨年にもまして天候不順、残雪の見える状況ではあったが、学生達が明るさと希望をつれてきた。それは、開学当初以来の入学人数に表れている。18歳人口減少の中、多くの学生に本学を選んでいただいたことを感謝すると同時に、今後の教育の一層の充実に努力しなければならないであろう。（小俣 勝治 学務委員長）



## 学生カフェ

平成24年度は、新町春フェスティバルやねぶた祭りに連動した、FRIENDLY WINDOW（以下FW）での経営ベンチャー、地域マネジメント研究所による国際産直プロジェクトなど、経営法学部的一年生がメインとして参画する課外プロジェクトが、多く行われた年となった。

春休みとなる3月1日～30日までの期間、年度の総仕上げとして、一連のプロジェクトに参加した1年生7名により、FWでのカフェ運営が行われた。

度重なる企画会議や商品開発を経て完成させたホットケーキは、それぞれマンゴーとリングをフィーチャーした二種類。中でも、国際産直プロジェクトにてタイから直輸入した、マハチャノマンゴーの無添加ソースが使用されたホットケーキは、報道効果と低価格も相まり、多くの方に好評であった。

企画から運営までをやり遂げた運営チームは、初めての後輩となる新入生を迎えることにより、更なる「青森中央学院大学・発」を創造してくれることと思う。

（研究支援課 古山 正英）



## ニコニコ通り商店街の振興計画づくり

本学内山研究室が、昨年10月から約5ヶ月間掛けてニコニコ通り商店街の振興計画づくりに参加した。このプロジェクトは青森銀行の地域シンクタンクである青森地域社会研究所が総取りまとめ役となり、大学生による新町地区各商店街の振興方策を検討するものである。若者の視点から新たな商店街活性化の可能性を探ろうという企画であり、本学の他、青森公立大学、青森大学の学生が参加した。本学では内山研究室がニコニコ通り商店街を担当した。新町地区の各商店街は郊外の大規模商業施設に顧客を奪われて苦戦しており、昔の活気が失われつつある。青森駅を背にして新町通りの1本右手に平行して連なるニコニコ通り商店街も同様に、店主と主要顧客が高齢化して、厳しい状況にある。提案した振興計画ではこの状況を逆手に取って、「笑顔あふれる高齢者が集う街」を商店街コンセプトとして青森版の巣鴨地蔵通り商店街を目指す将来像を描いた。2月13日に行われた報告会では、各商店街の店主や商工会議所、行政関係者などが多数集い、その内容はTVや新聞などでも紹介された。

## 国際交流センターより

### 青森県産お土産試食評価会開催

青森県産お土産を留学生が試食・評価し、アジアからの観光客に好まれるお土産品は何かを見出す青森県産お土産試食評価会が開催され、留学生30名が評価をした。

試食評価会では、青森県物産振興協会とあおもり北彩館新青森駅店から売れ筋の商品12品をご提供してもらい、留学生が味や価格、量、食べやすさ、パッケージなどをチェック、ランキングをつけた。評価結果は次のとおりである。

- 第一位 パティシェのりんごスティック
- 第二位 かしすじゅえる
- 第三位 アップルスナック（ジョナゴールド&王林）
- 第四位 希望の雫
- 第五位 味噌カレー牛乳煎餅



## 大学院「企業危機管理士」資格取得

平成25年度より、本大学院において「企業危機管理士」の資格取得が可能となった。

「企業危機管理士」とは、①「企業内で企業危機管理の実践に当たってリーダーシップを発揮し、企業危機を克服し、企業を生存維持する業務を行なう」、②「企業外部で企業の安定発展のために企業危機管理のコンサルタントとして機能し、企業危機の対応につき指導、助言する」等のように、企業内外において危機管理全般を担当しうる企業危機管理の専門家であり、日本危機管理士協会、ソーシャル・リスクマネジメント学会、日本リスクマネジメント学会が認定する資格である。

本大学院では、危機管理研究の権威である大泉光一教授が担当する「企業危機管理特論」の単位を取得し、日本企業危機管理士協会の審査に合格すれば資格が得られる。

大学院生だけでなく、科目等履修生も取得可能であるため、事業継続計画（BCP）などのリスクマネジメントや危機管理業務に携わっている、また、将来的に必要なと感じる地域住民の受講も歓迎している。

### 青森県留学生交流推進協議会 会長校に

平成2年に、青森県における留学生の円滑な受入れの促進と地域住民との交流を通じ、相互の国際理解を深めることを趣旨として青森県留学生交流推進協議会が設立されたが、その会長を平成25年4月から本学の花田勝美学長が務めることになった。これに伴い、事務局を本学が担当することになった。

本学では、留学生の交流推進に積極的に取り組んでいるが、今後は本学のみならず、青森県全体の留学生交流の推進に向けて努力をしていくことになる。

- [青森県留学生交流推進協議会]  
 会長：青森中央学院大学 花田勝美学長  
 事務局：青森中央学院大学 国際交流課  
 構成機関・団体：県内高等教育機関 12校  
 国・地方公共団体 7団体  
 経済団体 3団体  
 留学生交流団体 7団体  
 合計29校・団体

# 青森中央短期大学

## 新たな旅立ちの時を迎えて

雪深い地にもようやく春の気配が感じられた3月15日、青森中央短期大学学位記・修了証書授与式が挙行された。ご父母の方々や在学生、教職員が見守る中、3学科1専攻250名ひとりひとりに、久保学長から学位記・修了証書が授与された。続く学長式辞を聴く中で、在学中のことを思い起し、涙する学生も見られた。本学で学んだことを生かして、これからの人生を歩んでほしいものである。

卒業式が修了した後、国際ホテルにおいて、卒業生主催の祝賀会が開催された。ご父母や教職員に宛てた卒業生たちからの映像メッセージが披露されるなど、和やかな中にも華やかさのある会となった。最後に、

校歌「愛あれ知恵あれ真実あれ」を全員で声高らかに歌い、新たな旅立ちの締めくくりとした。



## 新入生ガイダンス

**食物栄養学科**では、入学オリエンテーションを「食物基礎講座」の授業の一環として行っている。新入生達は期待と不安のなかで、学科教員から大学で学ぶことの意義、栄養士という専門職の重要性、履修登録や学習方法などについての講義を受けた。また、先輩達との交流会の中で、大学での学習や生活についてのアドバイスを受け、これから始まる本格的な学生生活のスタートをきる準備を整えていた。



**幼児保育学科**では、学生証と校章、学生便覧を手にして、履修についての説明をきく新入生の姿に、大学生としての自覚と、夢にむかっていく若者の初々しさと情熱が溢れた。特にオリエンテーションの最終日の午後は、選択科目である「レクリエーション論」の体験も兼ねた先輩達との楽しいひとときとなった。講師に「レクリエーション

## 入学式挙行

4月3日、入学式が挙行された。久保薫学長式辞、石田憲久理事長祝辞に続き、在学生を代表して竹内志乃さんが「入学時の目標と決意を胸に、現実を見据え、逃げることなく、自分を信じて頑張らしましょう」と新入生に歓迎のことばを贈った。激励を受けた新入生246（食物栄養68、幼児保育80、看護86、専攻科福祉専攻12）名を代表し、幼児保育学科の玉熊愛華さんが「真剣に学業に励み、充実した生活をおくり、社会に通用する人材に成長する」ことを力強く宣誓した。

翌日の学友会総会ではサークル勧誘も行われ、精力的なサークル活動や活動を通じた地域貢献の様子も紹介された。

「短大生活はあっという間、一日一日を刺激的に、大切に」との久保学長の言葉が、新たなスタートを切った新入生の皆さんの背中を押し、大きく成長させることだろう。



論」を担当されている塩谷先生をお招きして200人の学生の遊びを展開し、幼児保育学科の一員としての第一歩が始まった。



**看護学科**のオリエンテーションでは、初めに学生便覧を読み、それについての自分の考えを発表しあった。また国家試験対策、進学対策、就職関連事項と、次々に学科教員からの説明があり、厳しい3年間であることを十分実感しつつ、これから苦楽を共にする学友と共に、国試合格率100%をめざして頑張る高等教育の第一歩を踏み出すことになった。



## 高い合格率を保つために ～看護師国家試験合格率96.6%！～

看護師として働くためには、看護師国家試験に合格することが必須であり、例年約50,000余名が受験し、合格率は約90%となっています。試験は必修問題、一般問題、状況設定問題で構成され、必修問題において8割に達しなければ、合格にはなりません。年々、問題の質や難易度が高くなっており、看護師に求めるレベルが多様化・高度化したことを示しています。私が国家試験対策委員を仰せつかって3年、成績の分析や対策講座の開講などを示しています。私が国家試験対策委員を仰せつかって3年、成績の分析や対策講座の開講など、たくさんの方策を講じてきました。その結果、第5期生は合格率96.6%という本学看護学科開学以来の見事な結果をもたらし、卒業に大きな花を添えてくれました。毎年3年生になると、実習・就活・看護研究にと多忙を極め、その中で試験勉強に励むことが求められ、非常に厳しい1年になります。今年も、看護師としてのスタートラインである国家試験に合格できるように、力を尽くすのはもちろんですが、学生個々が日々の様々な壁を自分で乗り越えられるよう支援していきたいと思います。

(看護学科准教授 玉熊 和子)

## 幼児体育指導者検定認定校に

本学は昨年度、日本幼少年体育協会が認定する幼児体育指導者検定の認定校として承認された。幼児体育指導者検定とは、幼児期の発育・発達に不可欠な運動遊びの指導についての専門的な知識・技術を学び、それぞれの子どもにあった運動プログラムを組み立てる指導者のレベルを認定する試験である。

3月9日～11日の3日間にわたり、第1回幼児体育指導者検定を開催、1・2年生の受講者20名全員が2級を取得した。この検定では、学科講習と実技講習を通して、子どもの発育・発達に関する基礎知識や跳箱、マット運動、リズム体操などの効果的な指導法について学んだ。3日目の検定試験後は、「全身筋肉痛です！」と言いつつも、合格を勝ち取った達成感と安堵感を浮かべて互いの頑張りを讃えあった。学生達はまた一歩、自らの努力で保育者に近づいたようである。



## 学生考案の米粉スイーツがついに商品化！

平成24年度の青森県主催「しっとりもっちり東青の米粉スイーツ創出事業」は、学生考案によるスイーツの商品化を目標とした。本学からは14品目で応募し、食物栄養学科の石岡里菜さんと八戸早織さんの作品がそれぞれ「青森こめごぼうショコラ」「チーズ&トマト」という商品名で、今年2月にセブール各店舗において販売された。3月には成田香菜さんの作品が工藤パンにより「ふわどら～さわやかカシス風味クリーム～」として、サークルK、ミニストップ、イオン系列のスーパーで販売された。また同じく成田さんの「ふわもちりんごシフォン」が、松栄堂から販売された。これに先駆け、1月31日から2日間、「東青の米粉スイーツ販売促進キャンペーン」が新青森駅1階「旬味館」内でおこなわれ、多くの客が詰め掛けた。



## 福祉を知ってもらう事、福祉人材を育成すると言う事

～平成24年度 青森県福祉・介護人材確保対策事業の開催を通して～  
高齢化の進展と世帯構造の変化、ライフスタイルの多様化により、福祉・介護ニーズが拡大している中、質の高い人材の安定的確保が必要となっている。こうした背景をうけて、本学ではあらゆる年代のあらゆる人を対象に、福祉を知っていただく取組をした。人と関わることの大切さをホスピタルクラウンとして活動している大棟耕介氏、楽々介護塾を主宰している青山幸広氏（本学幼児教育学科16期生・専攻科福祉専攻2期生）をお招きして、笑いコミュニケーション、誰にでもできるらくらく介護術の講演を開催した。12・1・2月の荒天の時期にもかかわらず、県内各地から幅広い年代層、様々な職種の方に来ていただき福祉に興味を抱く一助となった。

また、福祉人材のキャリアパス支援事業として介護福祉士実務者研修・地域研修を全国で初めて実施し、介護福祉士を目指すための科目35時間の単位を修得する機会を提供し、福祉人材育成に貢献することができた。

# 附属第一・第二・第三幼稚園 / 中央文化・浦町保育園

## 教育方針

一健康で明るく心豊かな子ども一

- 友達と仲良く遊ぶ。
- よく見、よく聞き、よく考える。
- 思ったことははっきり話す。
- 自分のことは自分でやる。

### 認定こども園附属第一幼稚園



〈入園式〉今日から幼稚園の仲間入り。お友だち沢山つこうね。



〈給食〉初めての給食が始まりました。みんなで食べるとおいしいね。



〈認定こども園〉0・1・2歳のお友だちが自由に遊びをしています。いつでも遊びにきてね。

### 附属第二幼稚園



〈入園式〉まだまだ、お父さんやお母さんのそばがいいの。でも、自分の足でしっかり歩いていた子もいました。



〈はじめての給食〉配膳が終わるまでが待ちどおしいね。「いただきます」と同時に、みんなでおいしい給食を食べました。



〈始業式の後の様子〉年中さんは、ぐっと落ち着いてお話を聞いています。本の内容は、道徳的なお話でした。

### 認定こども園附属第三幼稚園



〈入園式〉新園児も在園児と一緒にクレヨンを持って、もう立派な第三幼稚園の仲間です。



〈朝の集會〉背中をピンと伸ばしたい姿勢で、園長先生のお話をしっかり聞きました。



〈お絵描きタイム〉楽しいことがたくさん幼稚園。将来の画家のたまごたちがたくさんいます！

### 中央文化保育園



〈入園式〉みんなお友達。毎日ドキドキワクワク、楽しくすごしましょうね。



〈戸外遊び〉天気の良い日は、園庭で思いきり遊びます。春の風がさもちいね。

### 浦町保育園



〈入園式〉みんなで手遊びやうたを一緒にうたって、新しいお友達をお祝いました。

## 先生達活躍しています 第9回

### 出会いの春



認定こども園 附属第一幼稚園

#### 村上 この美先生

幼稚園教諭になって、この春で6年目を迎えました。昨年度に続き、今年度も年長児の担任となり、毎日楽しい日々を25名のお友達と過ごしています。昨年度の3月には、47名の卒園児を見送りました。入園したばかりの頃は、ママに会いたいと泣いたり、お部屋を抜け出していた年少時代。しかし、毎日の積み重ねにより、年長時では自分のことをしっかりやったり、自分の思いをはっきり話すことができるようになる等、立派な姿で卒園することができました。3年間一緒に過ごした思い出、信頼関係を結んだお友達との別れはとっても寂しいですが、春には新しく環境が変わった中で、たくさんの出会いがあります。年長時は幼稚園生活の集大成、最後の1年間となります。私も子ども達の環境の1つとして、一人一人の心に寄り添い、年長時代が1番輝く充実した毎日になるよう、大切な日々を過ごしていきたいと思っています。

### ばんびくらぶ開設にむけて



附属第二幼稚園

#### 杉本 愛先生

幼稚園教諭になり今年で11年目を迎え、昨年9月に一児の母となり、子育てに奮闘する毎日です。我が子の成長に喜びを感じながらも、子育てはこんなに悩みが尽きないものかと日々思っています。保育園に初めて預けた日、「大丈夫か、泣いてないかな」と不安でしたが、息子は終始笑顔で遊んでいたとのこと。先生からの連絡帳、玄関先でのお話に安堵でいっぱいになりました。親になり、保護者の方の苦勞を初めて感じ、改めて気付かされることもたくさんあり、自分はまだまだ未熟だったと感じました。

第二ばんびくらぶ開設に向け、私が得た経験・知識を少しでも役立てたいです。また、園に送り出す保護者の方の不安が少しでも和らげるよう、連絡を密にしながら日々過ごしていきたいと思っています。いつでも子ども達が楽しく過ごせるよう、園ではママ先生として頑張っていきたいです。

## 読み聞かせたい一冊の絵本

中央文化保育園 佐藤るみ子先生「へちまのへーたろー」  
二宮由紀子 作・スドウピウ 絵 (教育画劇, 2011)

ある日、へちまのへーたろーがつるの下でブラブラしていると、人間のこどもがやってきて、「きゅうり？」と、へーたろーの顔を見て言いました。

へーたろーは、きゅうりに間違えられないようにどうすればいいのか考え、いろいろなことに挑戦します。「やせているからかな？」と考えれば、たくさん食べて太ってみたり、「いぼいぼがあるから？」と考えれば、洗顔を試みたり、「ことばが通じないから？」と考えれば、人間の言葉を勉強したり……。

そのたびに「へんてこきゅうり」と間違えられますが、諦めずに挑戦していきます。ユーモアのなかにも、「頑張ればできる」ということを感じられる絵本です。



# 青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

## 卒業証書授与式・祝賀会

厳しい冬景色が次第に春色に変化を増す3月20日の春分の日、青森中央経理専門学校及び青森中央文化専門学校の卒業証書授与式が保護者や在学生が見守る中、厳粛に執り行なわれた。

卒業生を代表して、青森中央経理専門学校の山内弘樹君が、仲間を支えられた2年間だったと感謝の気持ちを述べた。在校生代表の青森中央文化専門学校の加藤美雪さんは、先輩達が残した伝統を守りますと誓いを述べた。同日午後に行われた祝賀会では、在校生の演奏で卒業生を祝う場面もあり、終始笑顔に満ちていた。

2年間、互いに時間を共有できたことは、これから一人一人が歩んで行く道の途中で、貴い経験として思い出されることだろう。



## 沼山るり子先生 永年勤続教職員表彰受賞

このたび、青森中央文化専門学校にて長年に亘り、本学の教育・地域社会貢献に尽力した沼山るり子先生が、文化服装学院連鎖校協会より御功績を称えられ、永年勤続教職員として表彰された。

沼山先生は、先代の久保ちる学園長先生、桜庭せつ子校長先生のご指導のもとで洋裁の基礎知識と技術を学び、卒業後もさらに技術を磨き、母校である青森中央文化専門学校で教鞭をとられてきた。表彰を受けるにあたり、「感謝の気持ちで一杯です、これからも学生に自分の持っている技術を伝えていきたい」と受賞の喜びを述べた。



## 入学式・オリエンテーション

4月6日、青森中央経理専門学校及び青森中央文化専門学校の入学式が執り行なわれた。新入生を代表し、青森中央文化専門学校へ入学した赤坂詩織さんが、本校の建学の精神「愛あれ、知恵あれ、真実あれ」を胸に希望と期待に満ちた誓いを述べた。

8日・9日はオリエンテーションを実施し、互いに交流を深めながらケーススタディでグループワークを楽しんだ他、講師の方を招き、「学生時代しておくべきこと」についてご講話いただいた。学生は新生活のスタートを新たな決意を抱き、真っ直ぐな瞳で講話に耳を傾けた。



## 未来の自分像

青森中央文化専門学校1年 赤坂 詩織

私は、以前から細かい作業と裁縫が好きで、ウェディングドレス専門のデザイナーを目標に、青森中央文化専門学校への進学を決意しました。入学後の現在は、自分に合う職業を調べ、ソーイングスタッフという職業に就くことを目標としています。高い技術を学びながら多くの衣服制作経験を積み、共に夢に向かって勉学に励む友人や先輩方と過ごせる日々を大事にし、2年間学んでいきます。



## 進級者の意気込み

青森中央経理専門学校2年 阿部 苑香

私が青森中央経理専門学校への入学を決意した理由は、簿記が好きだからです。そして、資格取得を目指して入学し、1年が経ちました。環境の変化で少し戸惑う面もあった反面、多くの出会いを通じ、人間として成長することの大切さを学びました。2年生は、学生から社会人へ少しずつ成長することを目標に、卒業までの残された日々を自分の自信に繋がるよう、大切に過ごしていきます。



## 経理発信情報 Vol.8 金融学習グループ

青森中央経理専門学校では昨年度、課外活動の一環として経理事務コース所属の1年生・2年生を対象に、暮らしに身近なお金に関する知識を深め、理解することを目的に、「金融学習グループ」を立ち上げた。

昨年度は、全6回にわたり学習会を開催した。学習内容は、「大震災の募金の使い方」、「一生にかかる費用」、「自営業のについて」など、長年、専門分野でキャリアと功績を積まれた方々を講師に招き、講話を中心に実施した。

今年度も「ライフプランニング」や「保険」、「投資」といったテーマを設定し、学習会を全7回実施する予定であり、この学習会を通じてお金に関する知識を深め、更なる理解に繋げていきたいと考えている。



## おすすめ図書 vol.7

青森中央文化専門学校 曾我 武先生  
『THE STUDY OF COMME des GARÇONS』  
南谷 えり子著 (リトルモア, 2004)

1981年のパリコレクションで衝撃的な世界デビューを飾った日本のアパレルブランド、コムデギャルソンに関する教科書的な一冊。

本書にはデザインやパターンの解析、ビジネスとしての側面、そしてデザイナー川久保玲の創作に対する取り組み方やその方法論も描かれている。過去のショーの写真や服のパターン画も掲載され、読み続けていくうちに心を奪われてしまう。

芯を持たない者が着てしまうと服に呑みこまれてしまうが、芯を持つ者が着ると共鳴し合い一瞬にして融合してしまう。欧米的な美の基準を打ち破り、デザイナーの意思が具現化され、着る者に洋服の興味を考えさせるアバンギャルドなファッション。

アパレルの価値が問われる現在だからこそ、新たなデザインの可能性やクリエイションの本質を衰えることなくコムデギャルソン (少年のように) 探し続けるこのブランドを改めて学んでおきたい。

## ファッション通信 vol.7

### 【2013年夏のオススメ style】

今年の夏はさりげなくトレンドを取り入れ、定番感覚のファッションにいまどきの抜け感をプラスすると好感度ルックを演出できます。

女の子らしさの中に裾広がりのアイテムでエレガンスを表現し、品の良さを表現できます。ジャケットを羽織ったスタイルでもショートパンツとコーディネートするとフレッシュな感覚に。

色の明るさをある程度合わせると、フレッシュで清潔感のある配色をアピールできます。



(本文：文化編集部サークル デザイン画：目賀田 佳奈)

## 卒業生ピックアップ No.20

青森中央経理専門学校 平成23年度卒業  
医療法人三慶会指扇病院 勤務 沢田 里菜さん

私はリハビリテーション科の事務として勤務しています。

専門学校在学中は、医療事務コースに所属し、目標としていた医療系の仕事に就くことができました。職場では、優しい先輩、同期の仲間にも恵まれ充実した日々を送っています。

物理療法を通して、患者様と明るくコミュニケーションをとるように心がけ、笑顔で帰っていただけるよう、日々努力しています。専門学校在学中に学んだ医療事務、医療秘書の知識は、現在働いている自分の基礎になっています。段々仕事も増え、エクセル、ワードを仕事で使う機会が多くなりました。在学中にどちらも授業で勉強し、資格も取得していたので、専門学校で勉強していたのが本当に良かったと感じるこの頃です。



# 新教職員紹介

- ① 職位・氏名
- ② 出身
- ③ 担当
- ④ 抱負

## 青森中央学院大学



- ①教授 高山 貢 (たかやま みつぐ)
- ②青森県
- ③地域産業論、地域金融論
- ④学生達が社会に出て困らないよう、世の中の仕組みを講義のなかで学べるよう努力します。一緒に成長したいと思います。



- ①専任講師 NGUYEN CHI NGHIA (ゲン・チ・ギア)
- ②ベトナム
- ③アジア経済論、経営戦略論、経営学特別講義、経営学特別演習
- ④学生時代から大変お世話になっております本学で新しい再出発として母校の更なる発展に貢献し、恩返しして参る所存でございます。

## 青森中央短期大学

### 食物栄養学科



- ①助手 辻村 明子 (つじむら あきこ)
- ②青森県
- ③実習関係
- ④特養、病院勤務で得たことを、学生の皆さんに惜しみなく注ぎたいと思っています。

### 幼児保育学科



- ①教授 大橋 誠 (おおはし まこと)
- ②青森県
- ③児童文化Ⅰ、Ⅱ、造形表現法
- ④造形表現の様々な活動を通して、子どもの感性を認めながらかわっていきけるよう、支援していきたいと思っています。

### 看護学科



- ①准教授 三國 裕子 (みくに ゆうこ)
- ②青森県
- ③小児看護援助論Ⅰ・Ⅱ、小児看護学実習Ⅰ・Ⅱ
- ④まだ不慣れですが、学生の方々に“楽しく興味ある授業”を受講いただけるよう頑張ります。



- ①専任講師 石岡 桂子 (いしおか けいこ)
- ②青森県
- ③精神看護学
- ④国家試験合格のための知識だけでなく、人間を広く理解するための想像力や創造力も持つ看護師を育てたい。



- ①助手 杉田 由佳理 (すぎた ゆかり)
- ②青森県
- ③看護学実習
- ④看護師、ケアマネジャーとして、仕事を続けてきました。専門職の誇りを胸に、自己学習を継続できる自分でいたいと思っています。



- ①助手 久保田 弘子 (くぼた ひろこ)
- ②青森県
- ③看護学実習
- ④幸運な事に、もう一度、基礎から看護学を学ぶ機会に恵まれ参りました。どうぞよろしくお願ひ致します。



- ①副手 長内 香織 (おさない かおり)
- ②青森県
- ③実習関係
- ④現場経験を生かし、少しでも皆様のお力になれるよう頑張っていきたいと思っています。



- ①准教授 泉 美紀子 (いずみ みきこ)
- ②青森県
- ③地域看護学
- ④教員生活は初めてで、とまどいの日々です。早く慣れ、しっかりと使命を果たして行きたいと思っています。



- ①専任講師 大山 一志 (おおやま hitoshi)
- ②青森県
- ③精神看護学
- ④自分自身と向き合い、患者とともに成長する。そんな精神看護の醍醐味を共に分かち合っていけたらと願っております。



- ①助手 中村 祥子 (なかむら さちこ)
- ②青森県
- ③看護学実習指導
- ④教員としてまだまだ未熟ですが、学生の皆さんのサポートができるように頑張ります！

## 幼稚園・保育園

### 認定こども園青森中央短期大学附属第一幼稚園



- ①佐々木 晴菜 (ささきはるな)
- ②青森県
- ③たんぼぼ組
- ④小学校からの夢を叶えることができとても嬉しいです。大切な命をお預かりしていることを忘れず、安全に配慮し責任感を持って、頑張りたいと思います。



- ①倉内 葵 (くらうち あおい)
- ②青森県
- ③年少組 こすもす組
- ④子ども達と過ごす一日一日を大切に、“楽しい・やってみよう”と思えるような保育を行い、子ども達にとって輝いた幼稚園生活を送れるように頑張ります。



- ①兼平 のぞみ (かねひらのぞみ)
- ②青森県
- ③第一ばんびくらぶ
- ④子ども達と笑顔の絶えない毎日を過ごしていきたいと思っています。

### 青森中央短期大学附属第二幼稚園



- ①上野山 凜 (うえのやまりん)
- ②青森県
- ③5歳児りんご組
- ④新しく出会う子ども達と積極的に関わり、目の前のことに全力で取り組んでいきたいです。笑顔と元気を忘れずがんばります。

### 中央文化保育園



- ①古川 真莉奈 (こがわ まりな)
- ②青森県
- ③栄養士
- ④子ども達のために安全でおいしい給食を提供できるよう、毎日頑張りたいと思います。

### 認定こども園青森中央短期大学附属第三幼稚園



- ①園長 岩葉 悦子 (いわば えつこ)
- ②青森県
- ③園長
- ④幼稚園教育というやりがいのある仕事に、身が引きしめる毎日です。知・徳・体のバランスのとれた幼児教育のために全力で取り組もうと思っています。



- ①佐々木 香 (ささき かおり)
- ②青森県
- ③第三ばんびくらぶ
- ④子どもたちが毎日楽しかったと思える保育を心掛けていきたいと思っています。子どもたちと一緒に成長していける保育者を目指して頑張ります。



- ①高木 瑞季 (たかぎ みずき)
- ②青森県
- ③第三ばんびくらぶ
- ④保育者としてまだまだ未熟ですが、子どもたちと共に自分自身も成長していけるように頑張りたいです。



- ①藤井 つばさ (ふじい つばさ)
- ②青森県
- ③第三ばんびくらぶ
- ④子ども達にたくさんの笑顔を与えていけるような先生をめざして一生懸命がんばります。

### 浦町保育園



- ①秋田 麻美子 (あきた まみこ)
- ②青森県
- ③栄養士
- ④子どもたちが喜ぶおいしい給食を作っていく、食べ物に興味を持ってもらえるように、頑張っていきたいと思っています。

## 事務局



- ①石田 壮平 (いしだ そうへい)
- ②青森県
- ③総務部企画室長
- ④2012年9月に入職致しました。本学をよりよい学校にできるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します。



- ①石田 光 (いしだ ひかる)
- ②岩手県
- ③総務部企画室
- ④昨年の9月に入職して約半年が過ぎ、未だに戸惑うことばかりではありますが、頑張りますので、宜しくお願ひ致します。



- ①林 佳穎 (リン カエイ)
- ②台湾
- ③国際交流センター
- ④自分の語学能力を活かし、留学生のお世話と青森県における国際交流活動の役に立ちたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。



- ①藤本 千鶴子 (ふじもと ちづこ)
- ②青森県
- ③キャリア支援センター
- ④学生の就職活動に少しでも力になれるよう精一杯頑張りますので宜しくお願ひ致します。



- ①高杉 真寿美 (たかすぎ ますみ)
- ②青森県
- ③学習支援センター
- ④学生生活の中で困っていること・悩んでいること等、何でも構いません。いつでも相談に来てください。お手伝ひします。



- ①千葉 徳子 (ちば とくこ)
- ②青森県
- ③健康管理室
- ④主に小学校で養護教諭として働いてきました。その経験を健康管理室の運営に生かしていけたらと考えています。



- ①木村 勝則 (きむら かつのり)
- ②青森県
- ③管理
- ④学生から元気をもらいながら毎日楽しく勤務しております。会館管理等の業務を通して、快適な生活環境づくりにこれからも頑張っ参ります。



- ①秋元 紗織 (あきもと さおり)
- ②青森県
- ③図書館情報センター
- ④「笑う門には福きたる」の精神を大事に日々取り組みたいです。皆様の力になれるように頑張ります。



# 平成26年4月 青森中央学院大学看護学部誕生(申請中)

平成18年の学科設置より、400名を超える卒業生を輩出してきた青森中央短期大学看護学科は、豊かな教養と倫理観を備えた資質の高い看護師の輩出により、地域の医療環境の向上に貢献して参りました。

このたび、医療の高度化と多様化に対応できる人材を養成するため、専門分野とともに幅広い教養や課外活動などで培われる人格形成と深い人間理解を可能とする、ゆとりある四年制の青森中央学院大学看護学部として、平成26年4月の改組新設をめざし

て、諸準備を進めております。

青森中央学院大学 看護学部（設置認可申請中）では、看護の母であるナイチンゲールが提唱した「看護は科学であり、芸術であり、職業である」にも通ずる、建学の精神「愛あれ、知恵あれ、真実あれ」のもと、青森中央短期大学看護学科として培われたノウハウと弛まぬ研鑽をもって、慈愛と英知に溢れ、真理探究への努力を惜しまぬ看護師像を目標とした人材育成を行ってまいります。



## 新校舎建築計画について

平成26年4月の青森中央学院大学看護学部の開設に伴い、新校舎の建築を計画している。当該計画は2つの建物から成り立っており、一つは7号館の増築、もう一つは2号館の建替えである。

7号館の増築は、既存の7号館（7階建）を東側（川側）へ拡大する計画である。看護学実習室の拡大（4.5階）、看護学部で使用する予定の講義室・研究室の増設（4～7階）に加え、図書館の拡大によるラーニング・commonsの設置（3階）、多目的スペース（学生の休憩場所、展示・講義スペース）の新設（1階）、キャリア支援センターの移設（1階）等を計画している。

2号館の建替えは、既存の2号館（2階建）を建

替え、4階建の建物を建築する計画である。青森中央短期大学にて使用する予定の講義室・研究室の新設、音楽室・グループレッスン室・ピアノ練習室の移設に加え、アクティブラーニング教室の新設、サークル室の新設、学生ラウンジの新設等を計画している。

教育環境として必要不可欠な教室の拡大・増設はもちろんのこと、学生がディスカッションやプレゼンテーションを行いながら主体的に学習を行うことを目的としたラーニング・commonsやアクティブラーニング教室の新設、学生の居場所・課外活動の拠点となり得る多目的スペースや学生ラウンジの新設など、学生生活がより有意義なものとなる環境の実現を目指している。

# 学園共通

## タイ王国・チュラロンコン大学看護学部と国際シンポジウム開催

3月1日から3月6日まで、青森中央学院大学花田勝美学長、青森中央短期大学久保薫学長、看護学科教員6名がタイ王国・チュラロンコン大学看護学部を訪問し、学術交流を行った。

チュラロンコン大学看護学部とは平成22年、青森中央短期大学開学40周年を記念して学術交流を締結しており、その後教員の交流が行われていたが、国際シンポジウムを開催するのは今回が初めてである。本学より「介護保険制度」「高齢者看護」「救急看護」等について8テーマ、チュラロンコン大学より「タイ国における看護師教育」「がん看護」「うつ病」等について5テーマの発表があった。当日は午前9時から午後4時までの長時間にわたり、両国の現状や制度・文化による相違点について多くの質問や議論が熱心になされ、大変意義

深い学術交流となった。シンポジウム後にはチュラロンコン大学の見学、さらに翌日には、ユーピンアンスローチ学部長の案内による、東南アジア最大の私立病院バムルンロード病院や「The Senior Healthcare Co.,Ltd.（シニアヘルスケア）」視察の機会を得ることができた。

また、本学と長らく交流を続けているタイ看護協会を表敬訪問し、ウィナット会長、スチットラー元副会長はじめ理事の皆さんとの再会を喜び、今後の末永い交流を約束した。

視察先随所で盛大な歓迎をいただき、さらに訪問期間中、青森中央学院大学を卒業した留学生によるあたたかい支援やアテンドを受けた。まさに、本学園が今まで積み重ねてきた誠実で心のこもった国際交流の賜物と、改めて感じた交流であった。



## 学園感謝祭

2月8日、学術交流会館にて青森田中学園感謝祭が開催された。日頃針を使う青森中央文化専門学校は、感謝の気持ちと裁縫技術が益々上達するようという祈りを込めて、針を柔らかい豆腐に刺し、折れた針・曲がった針・さびた針に対しては、1年間の感謝の気持ちを込めて供養した。各設置校からは、毎日授業等で使っている包丁、杖、壊れたコンピュータ、オモチャが神前に供えられ、生徒・園児・講師・学園関係者が見守る中、感謝の祈りを捧げた。青森中央文化専門学校の学生代表が感謝文を申し上げ、代々受け継がれてきた詩「お針さん」を朗読した。

「針供養」の行事を通して、どんなにライフスタイルが変わっても、限りある資源という意識を次の世代に引き継いでいかなければならぬことを改めて認識させられたひとこまであった。

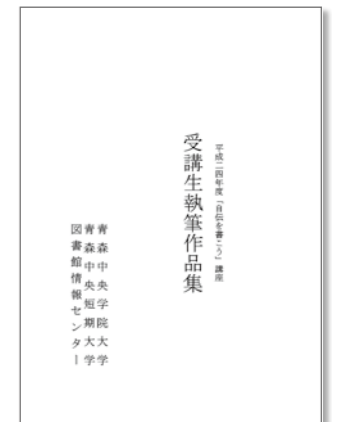


## 図書館カルチャー講座受講生応募作品集の刊行

平成24年度図書館カルチャー講座「自伝を書こう」の受講者の応募作品集が刊行された。この講座は、平成23年度の「小説を書こう」に続いて開講されたもので、平成24年度は、5回にわたって、「自伝」を書くための基本テクニックについて講義された。

受講生には、おのおのの人生の中から印象に残った、あるいは感慨深いエピソードを原稿用紙20枚以内でまとめるという課題が課された。最終的に数篇の応募があり、審査が行われ、最優秀作品賞が選ばれた。審査には、本講座の講師でもある元筑摩書房取締役、現海竜社編集部部長である宮園功夫氏があたった。応募者の年齢層が幅広く、多様な人生模様が珠玉の作品となって昇華されている。本作品集は、図書館に所蔵される。一読されたい。

（加藤 澄 図書館情報センター長）



## カフェテリアより

普段、カフェテリアをどのくらい利用していますか？カフェテリアをまだよく知らない方のためにここでちょっとご紹介します。ランチタイムには日替わりでヘルシーランチ（全品650kcal未満）を提供しています。また、「カロリーも気になるけど何より量が多くて…」という方のためにミニ丼もご用意しました。全て200円で提供していますので、「もう少し何か食べたい！」という方へも嬉しい一品です。14時からのカフェタイムには、開店に合わせて焼き上げるパンが絶品。こちらも日替わりで種類が豊富です。お昼はヘルシーランチでカロリーを抑えて、カフェタイムでカフェラテとベーグル…なんていかがでしょうか。



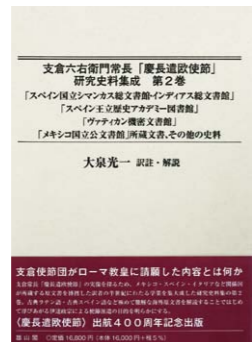
特別研究やグループワークが可能な10~12人掛けの席や、窓側のハイカウンターテーブルなど多種多様な目的で利用できる座席も備えていますので、是非足を運んでみて下さい。

## 大泉光一先生「支倉六衛門常長『慶長遣欧使節』研究資料集成 第2巻」出版

青森中央学院大学大泉光一教授は、日本における「危機管理」の第一人者として知られるが、一方で支倉常長及び遣欧使節について、50年近くにわたって研究されている。その業績は、梅原猛、陳舜臣、山折哲雄、高瀬弘一郎などの諸氏から高い評価を受け、2010年には和辻哲郎文化賞を受賞されている。

本書は第1巻に続き、青森中央学院大学共同研究費助成を受けて出版されたものである。『大日本史料』を始めとした過去の研究資料の邦訳文を綿密に精査し、また新出資料を提示しながら、従来の研究が範としてきた資料の誤りを正している。これら古文書の解明は、ラテン語・スペイン語の碩学であられ、古文書発掘のために歩いた距離が、何百万マイルに及ぶことなど、教授の研究者として徹頭徹尾の態勢があつてこそ可能とされたものである。後続する研究者への道標として、後世に残る貴重な遺産となろう。

(加藤 澄 編集長)



## アクティブ・ラーニング教室について

青森中央短期大学では、平成24年度にアクティブ・ラーニング教室の整備事業を実施し、5号館3階の531教室にアクティブ・ラーニングに適したテーブル、イスをはじめ、60台のノートパソコン、クリッカー、プロジェクタ、スクリーン、電子黒板等を導入した。これまで、座学中心で展開されてきた日本の高等教育は近年様変わりし、学生が主体的に学修を進めることが求められている。本学でも、時代の要請に応じて、設備を導入するに至った。本学が掲げる教育目標や、ディプロマポリシーに示す各種の能力を学生に身に付けてもらえるよう、アクティブ・ラーニングを通じ、学生自身にも積極的に、能動的に学修することを求めている。



## 教員免許更新講習

平成21年4月より、教員免許更新制が導入され、満35歳、45歳、55歳の現職教員・教員採用内定者は必ず更新講習を受講し、更新手続きを行うことが義務付けられた。本学園でも、この制度を受けて、昨年度より地域の高等教育機関と連携をとりながら、各設置校の特色を生かした教員免許更新講習を実施している。今年度の講習日程・内容については以下の通りである。不明な点は、県教育委員会へ問い合わせ願いたい。

### 【開講一覧】

**主催：青森中央学院大学** 受講者募集期間：4月1日～7月19日  
時間数：6時間 時間：9時～17時30分 対象職種：教諭  
■8月1日(木) しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成(Ⅰ)―「労働」を鍵概念として―  
■8月2日(金) しなやかに、賢く生きるための人間力・Human strengthの発達と教育  
■8月5日(月) しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成(Ⅱ)―「貨幣」を鍵概念として―  
■8月6日(火) しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成(Ⅲ)―「消費者」を鍵概念として―

**主催：青森中央短期大学** 受講者募集期間：4月1日～7月19日  
時間数：6時間 時間：9時～17時30分  
■8月5日(月) 学校教育における「いのちの教育」の原理的なあり方について 対象職種：教諭、擁護教諭  
■8月7日(水) 食育プログラム作成の実際 対象職種：教諭

## 前期開催行事案内

### 青森中央学院大学サテライトキャンパス FRIENDLY WINDOW

オープン時間 11:30~19:00 開館日 月・火・木・金・土(祝日を除く)

#### ●青森中央文化専門学校公開講座

日 程	内 容	対 象
5月30日(木) 13:00~15:00	トールペイントで作るジュエリーボックス	一般
6月 3日(月) 13:00~15:00	こぎん刺し講座 基礎①	一般・学生
6月17日(月) 13:00~15:00	こぎん刺し講座 基礎②	一般・学生
7月 1日(月) 13:00~15:00	こぎん刺し講座 基礎③	一般・学生
8月26日(月) 13:00~15:00	こぎん刺し講座 応用①	一般・学生
9月 9日(月) 13:00~15:00	こぎん刺し講座 応用②	一般・学生
9月30日(月) 13:00~15:00	こぎん刺し講座 応用③	一般・学生

#### ●新町写真部

対象:カメラを始めたばかりの初心者(一般市民・学生)

日 時	内 容	講 師
7月27日(土) 13:00~17:00	火祭り完全攻略!美しく撮るねぶた、そして花火	企業組合津軽電機工房代表 佐々木 勝則 氏
10月下旬 13:00~15:00	紅葉狩りと夜空の星	

## 青森中央学院大学・青森中央学院大学大学院

#### ●市町村リレートーク

会場:学術交流会館

日 程	テーマ	講 師
6月26日(水) 13:00~14:20	人づくりと地域社会	むつ市長 宮下順一郎 氏
7月 3日(水) 13:00~14:20		岩手県金ケ崎町長 高橋 由一 氏
7月10日(水) 13:00~14:20		深浦町長 吉田 満 氏

#### ●公開授業 現代社会論「変化の続く現代社会の位相図」

時間:16:10~17:40

日 程	内 容	講 師
5月23日(木)	青森県の経済動向と大震災後の行方	高山 貢
5月30日(木)	若者の雇用問題…何故、新卒就業が難しいか…	尾崎 正利
6月 6日(木)	変容する大学教育…教育心理学の視点から	丹藤 進
6月13日(木)	民主主義は再生するか?―混迷する日本社会のシステムをいかに再構成するか	鈴木 克成
6月20日(木)	今こそ問われるマニフェストの真価	佐藤 淳
6月27日(木)	日本人に課せられたグローバルコミュニケーション力	加藤 澄
7月 4日(木)	ソーシャルメディアが現代社会に与える影響	新免 圭介
7月11日(木)	現代社会における企業の社会的責任	藤田 正一
7月18日(木)	現代民主主義思想の源流	木村 良一
7月25日(木)	少子・高齢化における住宅政策	森田 学

## 青森中央短期大学

#### ●Sessions on the Arts 2013 “響感”アート交流地点

日 程	テーマ	出演	会場
5月27日(土) 13:00~17:00	語りと音楽	「グループかぜ」	学術交流会館2階

#### ●公開講座 むきあう～現在・過去・未来～

日 程	内 容	会場
9月29日(日) 10:00~12:00	日常を楽しくするデッサン教室 ～お気に入りのものをイラストに～	713教室
10月 5日(土) 午後予定	自分でできるフェイシャルエステ ～自分みがきをして認知症を予防しましょう!～	7号館5階実習室
10月12日(土) 10:00~12:30	心を繋ぐおばあちゃんの郷土料理	1号館2階調理室

## 青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

#### ●青森中央経理専門学校公開講座

日 程	内 容	対 象
8月29日(木)(予定)	MS Office ワードの使い方 応用編	一般
8月30日(金)(予定)	MS Office エクセルの使い方 応用編	一般

#### ●青森中央文化専門学校公開講座

日 程	内 容	対 象
9月29日(日) 9:30~11:30	親子で作るデコレーションボックス	幼児・保護者
10月5日(土) 13:00~15:00	夏休み 自由研究	小学生



## 「こぶしの花」掲載写真募集！

こぶしの花編集委員会では、「こぶしの花」（表紙）に掲載することを目的に、写真作品を募集しています。現在、10月発行予定の88号表紙掲載写真を募集中です。学園内の風景を題材に、皆さんの力作をお待ちしています。

■88号応募締め切り：9月30日

■応募先メールアドレス：kobushiphoto@aomoricgu.ac.jp

※応募の際、メールの表題には「こぶしの花写真応募」、メール本文には「学部学科・学籍番号・氏名・（電話番号）」を記入してください。

※本応募は、投稿の資格は青森田中学園在学生在が撮影した未発表作品に限ります。

※本応募に関するご質問等は、こぶしの花編集委員会までお問合せ下さい。

お問合せ先：kobushiphoto@aomoricgu.ac.jp



携帯から応募の際は  
コチラをご利用下さい

青森田中学園報「こぶしの花」第87号

発行日：2013.6.3

発行：学校法人 青森田中学園

〒030-0132 青森市横内字神田12

TEL：017-728-0131

FAX：017-738-8333

<http://www.aomoricgu.ac.jp>

<http://www.chutan.ac.jp>

## 「こぶしの花」編集委員

### 編集長

北原かな子

坪谷 輝子

岩葉 悦子

中田 尋美

加藤 澄

佐藤 紋子

赤坂 敦子

高橋 晴美

### 学生記者

久保 咲絵

齋藤 景一

倉内 実来

三浦 万季

相馬伽奈子

須藤 友英

平井 麗奈

新山 雅貴

豊島絵里菜

信太佑木子